



爽やかな秋空のもと熊野座神社の秋季例大祭が開催されました。中原楽保存会メンバーに加え、保育園児や小学生も参加し、賑やかに中原楽が奉納されました。

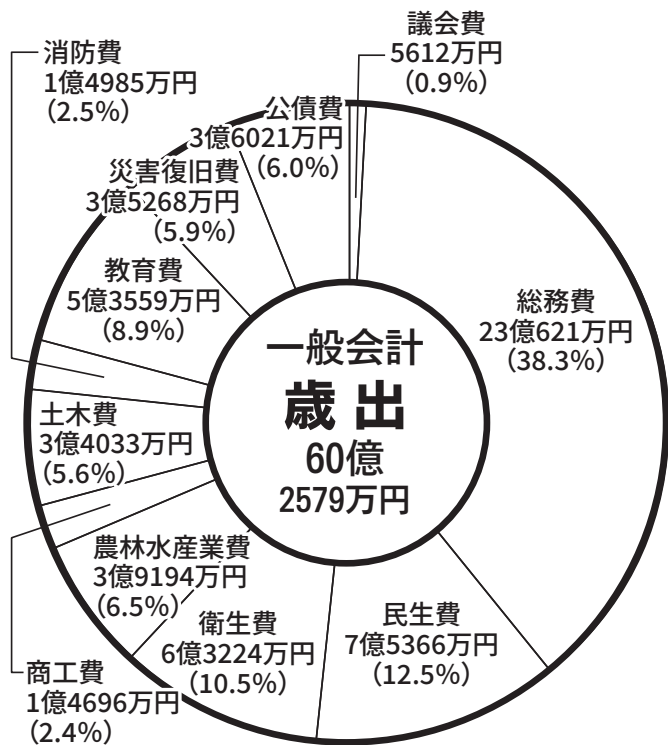
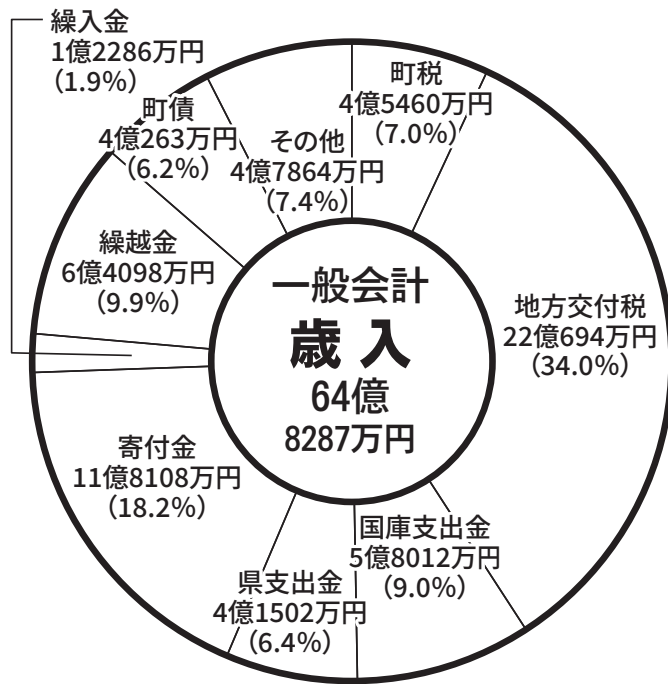


令和5年度 決算認定

令和6年第3回南小国町議会（定例会）が9月10日に召集され、9月13日までの会期で開かれました。町長から提出のあった主な議案は、条例改正・規約変更が5件、令和5年度一般会計歳入歳出決算などの認定案件が8件、令和5年度南小国町健全化比率及び資金不足比率の報告が1件、令和6年度一般会計補正予算などの予算案件が6件、人事案件（教育委員の任

命）が1件あり、それぞれ原案（一部修正案あり）のとおり可決、認定されました。

●決算概要
歳入から歳出を差し引くと4億5708万円となります。差引額の中に翌年度への繰越財源として8371万円が含まれているので、これを差し引いた3億7337万円が黒字となりました。



基金残高

基金名	5年度末残高
財政調整基金	16億1323万円
ふるさと納税基金	10億1151万円
きよらの郷づくり基金	1億5275万円
地域福祉基金	1億5685万円
CATV放送設備等整備基金	8124万円
一般会計その他基金	7639万円
特別会計基金合計	1億1471万円
合計	32億668万円

町債（借入金）残高

区分	5年度末残高
公営住宅建設事業債	2979万円
災害復旧事業債	3億1146万円
教育・福祉施設等整備事業債	5291万円
一般単独事業債	9758万円
過疎対策事業債	14億9450万円
臨時財政対策債	10億6391万円
一般会計その他	2453万円
特別会計合計	15億5684万円
合計	46億3152万円

特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出	収支額
国民健康保険特別会計	5億9989万円	5億9777万円	212万円
後期高齢者医療特別会計	6842万円	6834万円	8万円
介護保険特別会計	6億8168万円	6億5464万円	2705万円
水道事業特別会計	1億8877万円	1億5985万円	2892万円
農業集落排水事業特別会計	3183万円	2757万円	426万円
特定地域生活排水処理事業特別会計	2278万円	1967万円	311万円
公共下水道事業特別会計	1億4450万円	1億3590万円	861万円
合計	17億3787万円	16億6373万円	7414万円

※表示単位未満四捨五入のため、合計や収支額が一致しない場合があります。

こんなことに使われました

令和5年度に実施された主な事業は、次のとおりです。

ふるさと納税業務委託料（総務費）

4億8357万円



小学校屋内運動場改良工事（教育費）

りん小：1億4649万円

市小：1億3894万円



町民向け商品券発行业補助金（商工費）

8509万円



価格高騰重点支援給付金（民生費）

5505万円



飼料・燃料費高騰対策補助金（農林水産業費）

4902万円



町道改良工事（土木費）

1億877万円



町道草刈及び維持工事（土木費）

4412万円



自主放送設備更新工事（総務費）

3333万円



人材還流促進及びデータバンク構築・利活用業務委託料（総務費）

2400万円



予防接種委託料（衛生費）

1839万円



観光プロモーション事業委託料（商工費）

1197万円



くまもと間伐材利活用推進事業補助金（農林水産業費）

1258万円



空き家活用住宅整備工事（総務費）

1544万円



農業農村整備事業水路改修工事（農林水産業費）

1087万円



公共土木災害復旧工事（災害復旧費）

1億6318万円



水源地新設調査業務委託料（水道費）

2878万円



監査意見書（抜粋）

代表監査委員 石橋 正寿

議選監査委員 井野 和哉

- ① 財政健全化審査については、昨年度に比べ経常収支比率、実質公債費比率に若干の上昇が見受けられる^{※1}ものの、実質赤字比率・連結実質赤字比率・将来負担比率については「ゼロ」であり、本町の財政状況は健全と判断できる。しかしながら今後は「A跡地の利活用や水道施設の更新など大規模な事業が控えており、公債費や繰出金の増加に伴う財政への影響が懸念されるところである。引き続き財務状況を分析し、健全な財政が維持できるよう適正な運用を行っていただきたい。
- ② 町税や保険料・使用料及び負担金等の徴収については、現年度分は高い徴収率で推移しているものの、依然として過年度分（滞納繰越分）の徴収率が低い傾向にある。悪質な滞納者については引き続きこれまでのような法的措置をとるなど、徴収業務の更なる強化をお願いしたい。支払い能力が無いわけではない少額滞納者も依然存在しており、そのような滞納者には滞納額が増える前に、口座振替制度やコンビニ納付などを積極的に推進してもらいたい。今まで以上に担当課・局間の連携に期待する。
- ③ 歳出に多額の不用額が発生している科目が見受けられる。繰越明許などやむを得ないものもあると思うが、限られた財源を有効活用するためにも、実施困難となった事業や金額が確定したものなど早めの対応が可能なものは、年度途中で減額補正するなど適切な財政処理を望む。
- ④ 伝票監査においては、請求書に記載される作業内容・購入内容が簡略化されたものや決裁印の漏れが見受けられた。数量や算出根拠などが分かるよう明細等の記載をお願いしたい。また確認体制を徹底し、事務処理ミスの未然防止に努めてもらいたい。併せて、債権者への指導もお願いしたい。
- ⑤ 物価高騰対策や移住定住の取り組み、災害時の対応など様々な業務があるなか、職員の負担も増加しているように思われる。今後も専門職員の育成やAIの導入等による負担軽減並びに効率化に向けた対策を講じていただきたい。最後に、少子高齢化の進行や地場産業の衰退など本町が抱える課題は山積しているが、町民が安心して暮らせる「きよらの郷」であるよう、より計画的かつ効果的な行財政運営を願うものである。

※1 令和5年度の実質公債費比率は6.6%（令和4年度は6.5%）。この数値が25.0%を超えると「早期健全化団体」となり、財政健全化計画に基づき財政の健全化へ取り組む必要があります。

令和6年9月 第3回定例会

令和5年度決算

●一般会計歳入歳出決算書 特別会計歳入歳出決算書 (7会計)

主な審議

○湯夢プラザについて

▼佐藤議員 ①利用料金が町内200円、町外300円となっているが、温泉館きよらは町内外300円となっている。同じ温泉施設で差があるのはどうかと思うが。

②現金徴収では利用者数を確認するうえで不透明な部分があると思われるが。

③運動器具の状況は。

答 ①物価高騰でコストの削減も難しく、利用料金を上げるしかないと考えている。温泉館きよらと同じ町内外300円で検討していきたい。②月に2回、町の職員による料金の徴収と入浴券の枚数のチェックを行っている。利用者数の確認を行っている。③運動器具は平成14・15年の購入。古いため業者からメンテナンスを断られており、使用にあたっては安全管理者がいるよう

なケースが前提にはなるが、幅広い活用ができるよう検討していきたい。

○人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業補助金(しごとコンビニ)

▼森永議員 しごとコンビニの登録者数や発注数、売り上げ等の実績とデータバンクの利活用方法は。

答 8月末時点で111名の方が登録しており、20社から仕事の依頼があった。令和5年度は案件数で120件、644回の仕事の依頼を受けており、186万円の売り上げとなっている。データバンクについては事前の面接で得られた事業者(委託者)と登録者(受託者)双方の情報データをタ化することで、スムーズな受委託ができるよう活用していく。

○企業版ふるさと納税寄付金

▼北里議員 寄付金の内訳と使途は。

答 17社から合計470万円の寄付をいただいている。使途(充当)については本町が行う地域再生計画に位置付けられた地方創生の取組みなどに充てられることとなる。

○ドローンプロジェクト委託料

▼穴井秀房議員 委託の内容は。

答 小中学校ではドローンの操縦や動画の作成、また役場内では建設課による現場撮影や農林課による有害鳥獣の調査を行うため、専門家による操作方法等の研修を委託している。

○地域おこし協力隊

▼佐藤議員 ①起業型地域おこし協力隊の活動状況は。

②活動によって得られたデータ等(知的財産)の取り扱いはどうなっているか。

③インターン制度の内容は。

答 ①令和2年4月の運用開始から現在まで10名が採用され、既に卒業して町内で活動されている方が1名、町外に転出した方が1名、任期中で辞めた方が3名、現在町内で活動されている方が4名、産休で活動休止中が1名となっており、その4名は精力的に活動を行っている。②活動によって得られたデータ等について明確な取り決めがある訳ではないが、今後のためにも極力提出させるようにしたい。③インター

ン制度については本町に興味がある大学生などに暮らし体験や職場体験をしてもらい、将来何らかの形で南小国町に携わってもらった。関係人口として繋がってもらったための取組みを行っている。

○観光農園施設

▼穴井秀房議員 費用対効果が低い土地に借上げ料として99万円を支払っている。何らかの解決策はないのか。

答 交渉を続けてきた経緯はある。引き続き地権者とお話をさせていただく。

○町民向け商品券発行事業

▼森永議員 事業の振り返りと今後の展開を教えてください。

答 令和4年度に引き続き商品券事業を実施したが、ホームセンターやドラッグストア、燃料など生活に結びつくような利用が多かった。この事業はコロナ対策臨時交付金を活用しており、今後どうなるかは状況次第となる。

○コミュニティバス運行業務委託料

▼佐藤議員 令和6年1月から3月までにバスを無料運行した結果、利用者が

倍近くに増えている。いっそのこと運賃は無料にして町民の足として使ってもらうのが一番よいのではないか。また小国町のゆうステーションと肥後大津駅間をつなぐ小国郷ライナーは現在朝夕の2便となっているが、昼の便を追加し、さらに空港までのアクセスを確保すればもっと旅行者の利用が増えるのではないか。

答 この事業は南小国町・小国町の両町とバス会社等ならびに各関係機関で組織する小国郷公共交通会議で運用を行っている。いただいた意見は会議の中で協議していきたい。

○「日本で最も美しい村」活動支援補助金

▼森永議員 ボランティアで毎月ゴミ拾いと草刈り等を行っているが、一度刈った翌週に業者さんが除草するということがあった。もし前もって知っていれば他の路線の草刈りができたはずである。事前に情報をいただくことは可能か。

答 可能な限り除草作業の日程等の情報を公開していきたい。

令和6年度9月補正予算

3億5654万円を可決

	9月補正額	補正後予算額
一般会計	3億2540万円	60億3754万円
国保特別会計	△357万円	5億8626万円
後期高齢特別会計	8万円	8070万円
介護保険特別会計	2720万円	6億9287万円
簡易水道事業会計		
収益的支出	1万円	1億9175万円
資本的支出	206万円	4918万円
下水道事業会計		
収益的支出	536万円	2億2999万円

* 万円未満四捨五入
* 公営企業会計の適用に伴い、従来の水道事業特別会計は「簡易水道事業会計」へ、公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・特定地域生活排水処理事業特別会計は「下水道事業会計」へと移行しました。

主な補正予算

財政調整基金積立金	1億6889万円
児童手当	1162万円
予防接種委託料	1298万円
ふるさと納税システム利用料	275万円
農業農村整備事業水路改修工事	600万円
町道改良工事他	3000万円
河川改修工事（災害関連）他	4700万円

●一般会計補正予算

(第3号)

主な審議

○特産品開拓業務委託料

▼北里議員 委託の内容と委託先は。

【答】 新たな特産品の生産から販路開拓までを含めた計画書の作成を委託する。品種はキウイ（ソフトドリンク用）やジュニパーベリー（お酒のジンの原料）など4品目程度を予定してお

り、サントリーと情報を共有しながら進めていきたいと考えている。委託先は市原下町の「ウラニワ」。

○ツール・ド・九州関連事業委託料

▼井野議員 委託先と委託の内容は。

【答】 委託先は昨年同様TKU。内容については町の観光情報やグルメ情報のPR動画を作成し、10月13日当日の熊本阿蘇ステージの配

信内で放映することとしている。また熊本市の花畑広場に大型ビジョンを設置しPR動画を放映するほか、ユーチューブ等にもアップする。

○ふるさと納税

▼森永議員 昨年10月の制度改正の影響で本町でも駆け込み需要が生じ、SMO南小国では財政的圧迫が発生していたかと思うが、契約の変更が行われたのか。

【答】 制度改正に合わせた形で変更した部分はあった。寄付金の50%が町に残るよう返礼品を扱う業者も厳選して契約するようにしている。

○町有原野貸付料

▼穴井則之議員 貸付けの内容と相手先は。

【答】 雷の電波観測装置の設置に適した土地を探しているという会社から申し出があった。以前は宮崎県の青島で観測していたが近年ノイズが大きくなり、九州中の候補地を探していたところ本町にたどり着いたとのこと。なおこの観測装置は北海道に1カ所、九州に1カ所設置して全国の雷を観測している。貸付先は宮城県仙台台市にある㈱シーブイエンジニアリングという会社で、東北電力から委託を受けて雷の観測を行っているとのこと。

○予防接種委託料

▼佐藤議員 ワクチン接種の内訳は。

【答】 新型コロナウイルスワクチン接種は65才以上の定期接種が対象で、本人負担が2100円。帯状疱疹ワクチン接種は50才以上が対

象で、水痘ワクチンが上限4500円の補助、帯状疱疹ワクチンが上限1万円の補助を行うこととしている。

●一般会計補正予算

(第4号)

主な審議

○エアコン修繕料（りん小）

▼井野議員 落雷に伴う修繕とのことだが、保険には加入していないのか。

【答】 公有建物災害共済に加入している。故障箇所の特定ができておらず現時点で保険の適用が確定している訳ではないので、上限と思われる予算を計上している。

○支障木伐採業務委託（市小）

▼森永議員 倒木による人的被害がニュース等で報道されている。支障木の点検状況は。

【答】 各小中学校・保育園で点検を行っている。必要に応じ伐採を行っている。

●人事

◆教育委員の任命

中原 宇都宮 達也 氏

同意

Q 道路の除草作業が継続できる仕組みを考えましょう

A 行政のみでは困難。意見を聞きながら対策を図る



佐藤 毅 議員

問 道路路肩の除草作業が困難になってきている。景観維持や安全確保等のためにも、持続可能な仕組み作りが必要である。

町長 町が除草する路線以外は地区やボランティア等で実施していただいている。作業実施が難しい状況も承知している。全ての路線を町が除草することは財政的に困難。対策を図る。

問 歩道部分の草が伸びている。安全な通学路確保として対策がされているのか。

教育委員会事務局長 通学路安全推進協議会があるが、危険箇所については対策を講じているが、除草作業においては対策は行っていない。道路管理者と協議が必要。

問 除草作業をして頂いている団体等に、作業の時期や場所の調整・確認の場を設けてはどうか。

建設課長 今後の町道、道路の在り方というものを検討させて頂きたい。いろいろな意見があると思うので協議の場を設けたい。

Q 定住促進に向けた、住宅建設や宅地開発の必要性は？

A 課題感を持って、方向性を決め、取組みを進める

問 人口増加と定住促進を図るために、集合住宅の建設や宅地整備・造成開発が必要ではないか。

町長 町営住宅の建設は考えていない。民間賃貸住宅の供給を促進する。空き家バンク等では、移住者の受け入れには十分な対応ができていない。

問 民間賃貸住宅確保プロジェクト補助金を受けた物件においては、家賃の上限を設定してはどうか。空き家対策の一つとして、住宅

リフォーム助成補助金の上限や要件を改定してどうか。解体に対する補助金の創設も検討して頂きたい。

まちづくり課長 空き家の事業を含めて、協議・検討を進める。

問 茨城県境町の子育て支援住宅の取組みは、真似できる取組みと思うが。

町長 民間活用で負担は少なく、その期間も長い。より良い住環境づくりは、喫緊の課題と認識している。

Q 山村広場の今後の活用について

A 状況に応じ改修等も検討



穴井 秀房 議員

問 山村広場は、駐車場や階段、手すり等が著しく老朽化しており、法面は草や木で大変荒れている状態である。現在、中学校の野球部の練習場であることや、中学校に隣接していることから、環境面からも適切に管理していく必要がある。また、町民アンケートに公園の設置要望があったが山村広場を再整備することで活用できるのではないかと。すぐに出来ないなら、公園として適切な管理をして安全に使えるようにすべきではないか。

町長 維持管理は軽微な修繕はしてきているが状況に応じて改修等も検討していきたい。環境面では毎年森林組合やシルバー人材センターに除草等を委託しているが、中学校による利用頻度が上がっており除草の間隔等を見直し環境整備に努める。木柵や木、他施設も早急に対策をしたい。





北里 桂一 議員

Q 災害時における住民以外の避難について
特に観光客等の避難場所等について

A 個人や各宿泊施設の判断で安全
な場所への誘導が望ましい

問 本町最終避難所は3カ所あるが観光地において宿泊客や日帰りの観光客合わせると3000人を超えるお客様がいるがその避難計画や避難所やハザードマップ等の計画はあるのか。

町長 自主防災組織によって各公民館等に開設運営を行っている災害時の避難というものは難を逃れるというところで自宅が安全であれば避難所に行く必要はない。宿泊施設にしても同様である。ハザードマップについては来年度更新の予定である。

問 観光客の避難所として大型駐車場は考えられないか。BCPに添った事業継続計画やEV車両の導入やユニットハウス等の導入は考えられないか。

総務課長 BCPにおいても見直しが必要である。15避難所として大型駐車場も検討する。ユニットハウスやトイレ、ポータブル電源も必要なものであるが、まずは手軽なものを用意して通信網が途切れないようにする。



※BCP（事業継続計画）とは
災害などの緊急事態が発生したときに、企業や団体が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。



穴井 則之 議員

Q 小国杉の維持、保全を

A 森林環境譲与税などの財源を活用しながら



問 長期の木材価格の低迷などで山林所有者の経営意欲が失われている近年、山林の維持には多くの課題はあるものの、小国杉のブランドを後世に残していくには何らかの取り組みが必要ではないか。

町長 受け継がれた山林を継承し地域の防災と生産の両立を図る取り組みを進める。

問 林業従事者や担い手の確保が一番の問題ではないか。

町長 自伐型林業の研修会や地域おこし協力隊制度等を活用し担い手となるための活動を進める。

問 森林分野での「Jクレジット」への取り組みは。

農林課長 林務担当者や地域おこし協力隊等で進めているところである。

※Jクレジットとは
省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「Jクレジット」として国が認証する制度。



森永 一美 議員

Q どう継承する？郷土の食文化

A 食文化継承は重要。継承者や関係各課と協議し考えたい



生活研究グループ連絡協議会さんが講師となり3園で味噌づくりを実施



今年で5年目を迎える保育園の味噌づくりは大豆の種をまき、栽培することからスタート

問 核家族化が進み、共働きが一般化している現在、郷土の食文化継承が全国的な課題となっている。本町は農業が盛んな地だからこそ、食文化の継承活動が一層必要ではないか。

町長 食文化継承は重要。現在は保育園での味噌づくりや郷土料理の出前講座を行っている。今後は子ども向けだけでなく、大人への継承も協議しながら行いたい。

問 写真と文字だけでなく、ケーブルテレビで動画として記録してはどうか。まちづくり課長 記録として残すことは必要。番組制作を前向きに検討する。

問 わくわくクラブの中で料理クラブを作って、複数の方に継承者として関わってもらってはどうか。

教育委員会事務局長 協議したい。現在、小学校で育てた食材を使った食育や中学生の農家民泊なども行っている。今後学校活動の中で郷土の食文化に触れる時間を設けたい。

Q 町内の結婚支援事業の取り組みは

A 各種団体とも連携し方策を考えていく



井野 和哉 議員

Q 不妊治療費のさらなる補助の拡大を

A 今後、状況を見ながら利用者に寄り添っていく

問 若者の結婚観も変化し、晩婚化や結婚自体を望まない若者も増えてきている。町も結婚チャレンジ補助金を計上していたが、予算の執行もないようだ。

町長 町では平成21年に南小国町結婚推進協議会を立ち上げ、婚活イベントを開催してきた。その後、町内で婚活イベントを行う団体に補助を行ってきたが、コロナ禍の影響もあり、補助金の申請もなく、今年度は

問 予算化していない。

問 今、SNSを通じての出会いが多くなっているようであるが、紹介や同窓会での出会いもあるようである。町で補助を出して、町内で若い世代に同窓会を開催してもらうのも一つの方法では。

町長 人を集めるという部分で苦労した経緯があるので、同窓会の開催というのは一つの方法であると思う。協議をしていきたい。

問 町としてはコウノトリ支援事業として、令和6年度から1年度20万円の補助をしているが。

町長 不妊治療費が高額であることから、利用者の方、精神的にも肉体的にも大きな負担を強いられいている。負担を和らげるためにも、さらなる町の援助をお願いしたい。

町長 子どもは町の宝だと考えており、利用者の声に寄り添った制度となるよう、担当課とも協議を進めていく。

町民課長 保険適用外の治療法もあるが、保険適用の治療法は3割自己負担となり、経済的負担の軽減になっている。

総務文教常任委員会

委員長 穴井 則之

総務文教常任委員会は、南小国町社会福祉協議会と意見交換を行いました。町の福祉を考えていく上で福祉の第一線を担っている社会福祉協議会の実情を知ることは大変重要だと考えています。

南小国町社会福祉協議会（通称：社協）は、りんどう荘を拠点に地域包括支援、居宅介護支援、訪問介護、通所介護など様々な福祉事業を行っています。意見交換でいろいろな課題等を知ることができました。他の事業所の開設により介護報酬の減収や、国の福祉政策に翻弄されている事など福祉事業所として大変苦慮されている事がうかがえました。社協は町になくてはならない存在であり、今後町としてこれまで以上の支援を考えていかなくてはならないと感じたところです。



9月20日 意見交換会の様子

経済建設常任委員会

委員長 穴井 秀房

令和6年8月26日付けで提出されました「町道田ノ原白川線改良工事についての陳情」につきましては、9月議会で経済建設常任委員会に付託されましたので、10月9日に現地に出向き確認検討を行いました。

陳情箇所は白川集会所周辺に位置し、通行量も多くなっており、工事が行われなかった原因が今回解決しているため、委員会におきましては採択することとなりました。



未改良部分



10月9日 現地確認の様子

小国郷公立病院組合議会

公立病院組合議会議員 佐藤 毅

令和6年9月30日に令和6年第2回定例会が開催。令和5年度決算が審議され、認定された。

決算内容を簡略化してご報告します。

病院

医業収益	10億1253万円
医業外収益	5億5789万円
収益計	15億7043万円
人件費	8億4710万円
材料費	1億2664万円
経費等	3億3148万円
費用計	13億522万円

老人保健施設

施設療養収益	2億9441万円
収益計	2億9441万円
人件費	2億2870万円
材料費	1796万円
経費等	7697万円
費用計	3億2364万円

訪問看護

訪問看護収益	2348万円
収益計	2348万円
人件費	2321万円
経費等	107万円
費用計	2428万円

診療所

診療所収益	2202万円
収益計	2202万円
人件費	1640万円
経費等	485万円
費用計	2125万円

令和6年 議会日誌

8月	6	国道212号改修促進期成会定例総会
	19	国道442号道路整備促進期成会総会
	21	熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会通常総会
	24	阿蘇瀬の本高原マラソン大会
	27	県町村議長会正副議長研修会
9月	3	議会運営委員会
	6	熊日金婚夫婦表彰式
	7	消防団通常点検
	10～13	第3回定例会
	14	J A阿蘇小国郷畜産共進会
	17	議会広報調査対策特別委員会
	20	総務文教常任委員会
10月	24	表彰審査会
	30	小国公立病院議会
	4	在熊阿蘇ふるさとの会「かたらんネ！阿蘇2024」
	6	「きよらの郷」防犯少年柔道大会
	9	県町村議会議員研修会
	9	経済建設常任委員会
	16	きよら祭り
	17	議会広報調査対策特別委員会
	18	阿蘇広域行政事務組合議会定例会
	21	阿蘇市町村議会議員研修会
	24	議会広報調査対策特別委員会
	29	県町村議長会第2回監事会
	30～31	阿蘇市町村議会正副議長・議会事務局長研修

阿蘇広域行政事務組合議会

阿蘇広域行政事務組合
議会議員 北里 桂一

令和6年10月18日に定例会が開催されました。令和5年度の決算が審議され、承認されました。

決算額は以下のとおり。

予算現額	32億9216万円
収入済額	33億237万円
支出済額	31億1753万円
差引残額	1億8484万円

※上記決算額は一般会計（消防、ゴミ処理施設、火葬施設等）、阿蘇みやま荘特別会計、湯の里荘特別会計の合計です。詳細は追って報告します。

あぜやなぎ きよし 畔柳 喜司さん

ラーメン一筋50年。南小国に住んで30年。
町に飲食店を残すべく「事業承継」成立！



プロフィール

横浜市出身、杉田在住。南小国に「福一ラーメン」を構えて30年。夫婦で切り盛りしていたが、高齢に伴い事業承継に着手。オープンネームでの公募の様子は全国放送のテレビ番組などでも紹介される。後継者と今年9月に事業承継が成約。

…南小国でラーメン店を始められた経緯を教えてください。

高校卒業後に貨物船のコックとして料理人の道を歩き出しました。その後、ラーメン店で修行し、25歳で自分のラーメン屋を北九州に構えました。縁あって南小国を訪れた時に、良い意味で都会とのギャップに感動しました。真つ暗な夜空に輝く星やホテルの美しさ、水のおいしさ…夫婦ともに南小国に惹かれました。45歳の時、家族で南小国に移住し、福一ラーメンを開業しました。

…事業承継を始められた経緯を教えてください。

町の皆さんにも観光客の方にもご愛顧いただき、お昼だけで4回転する日もありました。お陰様で店は賑わっていましたが、妻も高齢になり体調の面から店を今後どうするか考えるようになりました。

そんな時、店の常連でもあった商工会の指導員さんが事業承継の存在を教えてくださいました。町に飲食店を残した



お客さんの7割が注文していた味噌ラーメンは、町内産含め8種類以上の味噌をブレンド

福一ラーメン 事業譲渡契約調印式



後継者の岩本さんとの調印式。
「心から応援してます。頑張ってください！」とエールを送る畔柳さん（左）

い、店の味を継いで欲しいという自分の想いが叶うのではないかと思います、事業承継に名乗りを上げました。

…実際に事業承継をされて、いかがですか。

やる気のある若い方に店を渡せたことでホッとしています。同時に、今までお客さんとの何気ない会話に元気をもらっていたことに初めて気づいて、正直複雑な気持ちです。

伴走してくれた商工会には感謝しています。本当に頑張ってもらいました。商工会なしでの事業承継は無理だったんじゃないかと思っています。

いつか事業承継をしたいと考えている方は、余裕を持って取り掛かると良いかと思います。うちは4年半かかって後継者が決まりました。

町も事業承継へのバックアップを考えてもらえたらと思います。後継者が移住を伴う場合、住む場所の問題も発生します。他自治体では様々な支援策も出ています。町内に店や事業所を残すためにもぜひお願いします。

取材・撮影・文：森永一美

編集後記

議会広報をお手に取り、ご覧いただきありがとうございます。

今回の表紙は熊野座神社で中原祭を奉納された皆さんです。保存会メンバーに加え、祭の継承をしている中原保育園児と有志の小学生も加わり、総勢50名以上と近年では最も多い奉納者だったそうです。

境内では大勢の参拝者が見守る中、祭囃子が空高く響き渡り、祭が奉納されました。祭一曲ごとに大きな拍手が湧き、賑やかなお祭りでした。お祭りは地域皆さんの思いや願いに触れ、喜びを共に分かち合うことができる場でもあると感じました。町内各所に根付いている文化がこの先も永く継がれることを心から祈念しております。

広報委員会では【町民皆さま】と【議会】とを繋ぐ役割になれるような議会広報づくりを目指しております。お気づきの点やご意見ご感想など何なりと頂戴できますと幸いです。（森永一美）

発行責任者

議長 井上 則臣

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井野 和哉

委員 穴井 秀房

委員 北里 桂一